

IBM i 2026

IBM i コンテンツ

Premium Package for iを活用するための基礎知識と操作方法

日本アイ・ビー・エム株式会社
テクノロジー事業本部
Power & Cloud テクニカル・セールス

Premium Package for iを活用するための基礎知識と操作方法

「Premium Package for i」の名前は知っているものの、

実際にどのような操作を行うのか分からない
どのような指示を出せばよいのかイメージできない
利用開始後の操作感を知りたい

という方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、Premium Package for iの詳細な機能説明ではなく、実際の利用イメージに重点を置いてご紹介します。
自然言語での指示から設計案の作成、ソースコード生成、実行確認までの一連の流れを通じて、Premium Package for iをどのように活用するのかをご覧ください。

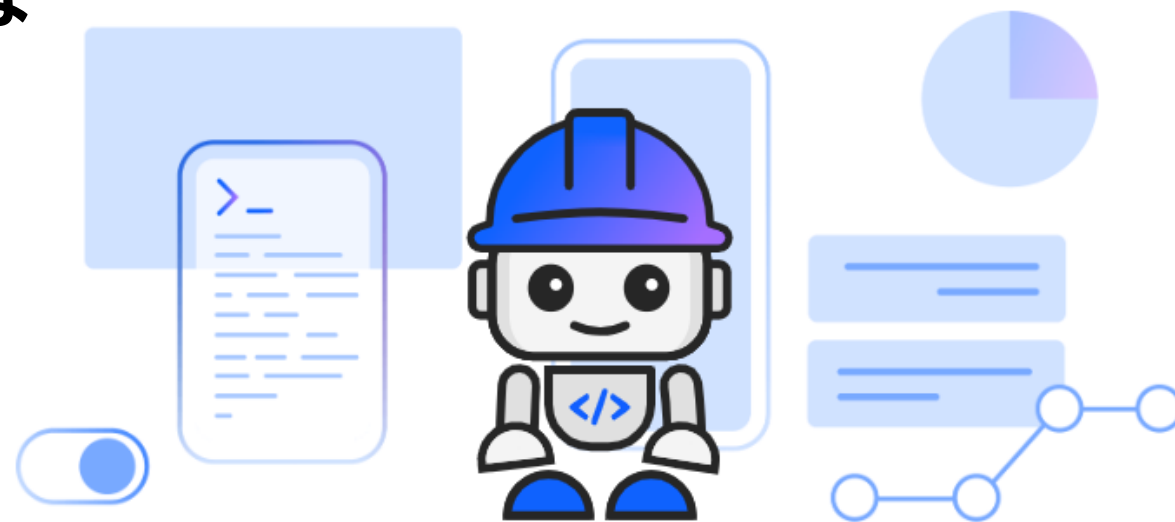
目次

1. Premium Package for i 概要
2. Premium Package for i 画面基本構成
3. デモ操作：プログラム作成 設計/作成/実行
4. 振り返りとまとめ

1. Premium Package for i 概要

Premium Package for iとは

IBM Bob Premium Package for i は、IBM i アプリケーション開発に特化した AI 機能で IBM Bob を拡張します。Bob に IBM i へのアクセスを与えることで、アプリケーションライフサイクル全体にわたってより効果的に作業できます。Bob はコードの生成と説明、プロジェクトのビルドとテスト、ドキュメントの作成、そしてレガシーアプリケーションのモダナイゼーションまで支援します。



IBM i環境への直接接続

IBM Bob Premium Package for i には、Code for IBM i を通じた IBM i システムへのアクティブな接続が必要です。Code for IBM i は SSH で接続するため、IBM i システムで SSH が実行中である必要があります。

IBM Bobへようこそ： あなたのAI駆動開発パートナー

こんにちは、Bobです！私はあなたのコード・ベースと一緒に作業し、
高品質なソフトウェアを迅速に構築するお手伝いをします

無料トライアルを取得

ダウンロード



[IBM Bob スタートページ](#)

Bob単体とPremium Package for i の主な機能比較



Base Bob

IBM i にアクセスするためには
IBM i 用のMCPサーバーの事前用意が必要

関連するソースメンバーをIBM i からPCへ
ダウンロード・アップロードが必要

コンパイル等のコマンドをBobは実行できない

LLMの力でソースから
テストケースやテストデータの作成が可能

IBM i の知見が少し足りないところがあり、
プロンプトで補強が必要



Bob + PP4i

拡張機能Code for IBM i を使って
SSHで直接アクセス可能

IBM i のソースファイルや
オブジェクトを直接確認可能

コマンド実行可能で、コンパイル実行後
結果確認をして修正ができる SQL実行も可能

ルールベースのツール(RPGUnit)を使って
テストプログラム作成と実行が可能
(ルールベースのため、トークン消費を抑えられる)

IBM i の専門家としてIBM i 専用の
Skills, Tools, Workflows, Slash Commands, RAGを
使うことでIBM i 開発の実務パートナーに！

IBM Bobの導入済み環境へのPP4i導入は簡単です。

IBM Bob起動時にサインオンしたIBM idにプレミアム・パッケージの利用権が割り当てられていると、Bob はインストールを促す通知を表示します。
通知内の インストール をクリックしてパッケージをインストールしてください。

IBM i環境 システム要件
OS V7R4以降
IBM i 上で SSH デーモンが起動している

[概要](#) | [Docs](#) | [IBM Bob](#)

IBM i への接続

1. アクティビティバーから IBM i: Servers ビューを開きます。
2. New Connection をクリックし、手順に従って新しい接続を追加します。
3. システムに接続します。

詳細な手順は以下リンク先をご参照ください。

[Quick Start](#) | [Code for IBM i Docs](#)

2. Premium Package for i 画面基本構成

IBM Bob 見るべき場所

④ワークスペース

IBM I

HELP AND SUPPORT

ENVIRONMENT

USER LIBRARY LIST

OBJECT BROWER

IFS BROWER

SAWAKILIB > QCLSRC > QSTRUP.CLP

③コード表示エリア

```
1 /******  
2 /*  
3 /* 5770SS1 V7R6M0 250418 RTVCLSRC出力 26/07/21 15:44:06 */  
4 /*  
5 /* プログラム名 . . . . . QSTRUP PN*/  
6 /* ライブラリー名 . . . . . QSYS PL*/  
7 /* 元のソース・ファイル . . . . . S000015452 SN*/  
8 /* ライブラリー名 . . . . . $BLDSS1 SL*/  
9 /* 元のソース・メンバー . . . . . S000015452 SM*/  
10 /* ソース・ファイル変更 . . . . . 13: 8:35 S/  
11 /* ユーザー・プロファイル: . . . . . *USL UP*/  
12 /* テキスト: . . . . . TX*/  
13 /* 所有者 . . . . . QSYS OW*/  
14 /* ユーザー変更フラグ . . . . . *NO UM*/  
15 /* 含まれているソースの検索 . . . . . *NO RI*/  
16 /*  
17 /******  
18 /* ED*/  
19 /******  
20 PGM  
21 DCL VAR(&STRWTRS) TYPE(*CHAR) LEN(1)  
22 DCL VAR(&CTLSBSD) TYPE(*CHAR) LEN(20)  
23 DCL VAR(&CPYR) TYPE(*CHAR) LEN(90) VALUE('5770-SS1 (C) COPYRIGHT-  
24 IBM CORP 1980, 2024. LICENSED MATERIAL - PROGRAM PROPERTY OF IBM')  
25 QSYS/STRSBS SBSD(QSERVER)  
26 MONMSG MSGID(CPF0000)  
27 QSYS/STRSBS SBSD(QUSRWRK)  
28 MONMSG MSGID(CPF0000)  
29 QSYS/RLSJOBQ JOBQ(QGPL/QS36MRT)  
30 MONMSG MSGID(CPF0000)  
31 QSYS/RLSJOBQ JOBQ(QGPL/QS36EVOKE)  
32 MONMSG MSGID(CPF0000)  
33 QSYS/STRCLNUP  
34 MONMSG MSGID(CPF0000)  
35 QSYS/RTVSYSVAL SYSVAL(QCTLSBSD) RTNVAR(&CTLSBSD)  
36 IF COND((&CTLSBSD *NE 'QCTL' QSYS) *AND (&CTLSBSD *NE-  
37 'QCTL' QGPL)) THEN(GOTO CMDLBL(DONE))  
38 QSYS/STRSBS SBSD(QINTER)  
39 MONMSG MSGID(CPF0000)  
40 QSYS/STRSBS SBSD(QBATCH)  
41 MONMSG MSGID(CPF0000)  
42 QSYS/STRSBS SBSD(QCMN)  
43 MONMSG MSGID(CPF0000)  
44 DONE:  
45 QSYS/STRSBS SBSD(QSPL)  
46 MONMSG MSGID(CPF0000)  
47 QSYS/RTVSYSVAL SYSVAL(QSTRPRTNTR) RTNVAR(&STRWTRS)  
48 IF COND(&STRWTRS = '0') THEN(GOTO CMDLBL(NOWTRS))
```

IBM BOB

SAWAKITEST/QCLSRCに含まれるソースファイルリストを... 21.2k / 270.0k 0.329

①会話履歴

3. 制御サブシステムの確認 (35~43行目)
QCTLSBSD システム値が '1' (制御サブシステム) の場合のみ以下を起動:
サブシステム
QINTER 対話型ジョブ用
QBATCH 2. Premium Package for I 画面基...
QCMN 通信ジョブ用
QCTL 以外の制御サブシステム (例: QBASE) の場合はこれらをスキップします。
4. スプールサブシステムとプリンター起動 (44~50行目)
• QSPL (スプールライター) を起動
• QSTRPRTNTR システム値が '1' (起動する) の場合、QMCNTRS を呼び出してプリンター書き込みプログラムを起動
ポイントまとめ
• IBM 標準の QSTRUP を SAWAKILIB にコピーしたもの (カスタマイズの基礎として取得した可能性あり)
• すべての STRSBS に MONMSG CPF0000 が付いており、エラーが起きても処理は続行
• &CPYR 変数は最後に CHGVAR されていますが、RETURN の後にあるため実行されない (著作権表示のための慣例的な記述)
次のステップとして、このプログラムのコンパイルや内容のカスタマイズをご希望ですか?
新しいタスク

②チャット入力欄

+ IBM i Developer 権限

3. デモ操作：プログラム 設計/作成/実行

こちらの章では、Premium Package for i を利用したアプリケーション開発の基本的な流れをご紹介します。
本デモでは、

- 作りたいシステムの内容を自然言語で説明する
- 提案された設計内容を確認する
- ソースコードの作成を指示する
- 作成されたプログラムを実行して結果を確認する

という一連の操作を実施します。

Premium Package for i を利用する際に、どのような指示を行い、どのような結果を確認しながら進めていくのかという実際の利用イメージをご覧ください。

【ご留意事項】

生成AIの特性上、同一のプロンプト（指示）および利用環境であっても、実行の都度、回答内容や生成される成果物が異なる場合があります。

このため、本動画でご紹介するデモ内容と、皆様が実際に利用された際の結果が一致しないことがありますので、あらかじめご了承ください。

ステップ1 設計案の作成

①. 構築したい内容の説明

まずは何を作りたいのか自然言語で説明します。

「データベースに登録されたレコード内容を画面に表示するプログラムを作ってください。

この作成にはIBM iに既存で存在するプログラムなどは使わないでください。

Bobの機能紹介ではなく、操作方法の説明が目的であるため作成物は簡単なものにしてください。

まずは、このアプリケーションを構成するデータベース、プログラム、画面の設計内容を提案してください。」

解答を確認し、設計内容に問題なければ後続のステップで実装を指示します。

ステップ1 設計案の作成

The screenshot displays the IBM Bob Premium Package for i v1.0.0 interface. The left sidebar contains navigation links for HELP AND SUPPORT, ENVIRONMENT, USER LIBRARY LIST, and OBJECT BROWSER. The main area displays 'KEY FEATURES' including Modes, Workspaces, Tools, Skills, Slash Commands, and Workflows. The right sidebar shows a chat window with a cartoon character and a list of recent tasks.

IBM i 2026

© IBM 2026

ステップ2 ソースコードの作成

先の設計提案に基づいたソースコードの作成を指示します。

「ライブラリは BOBPP4I を使用してください。
提案されたソースコードの作成を実行してください。」

ステップ2 ソースコードの作成

IBM i 2026

ステップ2 ソースコードの作成

IBM Bob Premium Package for i v1.0.0

Open Bob Chat | Connect to an IBM i | View Documentation

☒ Show welcome page on startup

KEY FEATURES

- Modes**
Use specialized IBM i modes to tailor Bob's behavior for your specific IBM i tasks
- Workspaces**
Work with source code on your local PC or directly on IBM i (QSYS or IFS)
- Tools**
Read & write to members or stream files, run CL commands, SQL statements, and much more
- Skills**
Use IBM i specific skills to achieve consistent results for specialized tasks
- Slash Commands**
Pre-defined prompts that automate repetitive IBM i tasks
- Workflows**
Tackle complex IBM i use cases using a structured flow of agentic and non-agentic steps

使用する主な操作

操作	内容
EXPMT SCREEN1	画面の表示と入力受付
CHAIN EMPHST	キーによるデータベース検索
*INB3	F3キー判定インジケータ

プロジェクト構成 (ソースファイル)

SAWAKILIB/
QDOSSRC/
EMPHST + 社員マスター PF
EMPHST + 社員照会画面 DSPF
QRPGLSRC/
EMPHST + 照会プログラム RPGLE

この設計の特徴 (学習目的)

項目	内容
シンプルさ	ファイル3つだけの最小構成
網羅性	DB・画面・プログラムの3要素をすべてカバー
操作学習	Bob for iでのPF/DSPF/RPGLEの作成へコンパイルを体験

この設計で進めてよろしいでしょうか？

承認いただければ、次のステップとして各ソースコードの作成に着手します。

[新しいタスク](#)

フォローアップまたは新しいタスクを開始 Ctrl+N

+ IBM i Developer | 権限

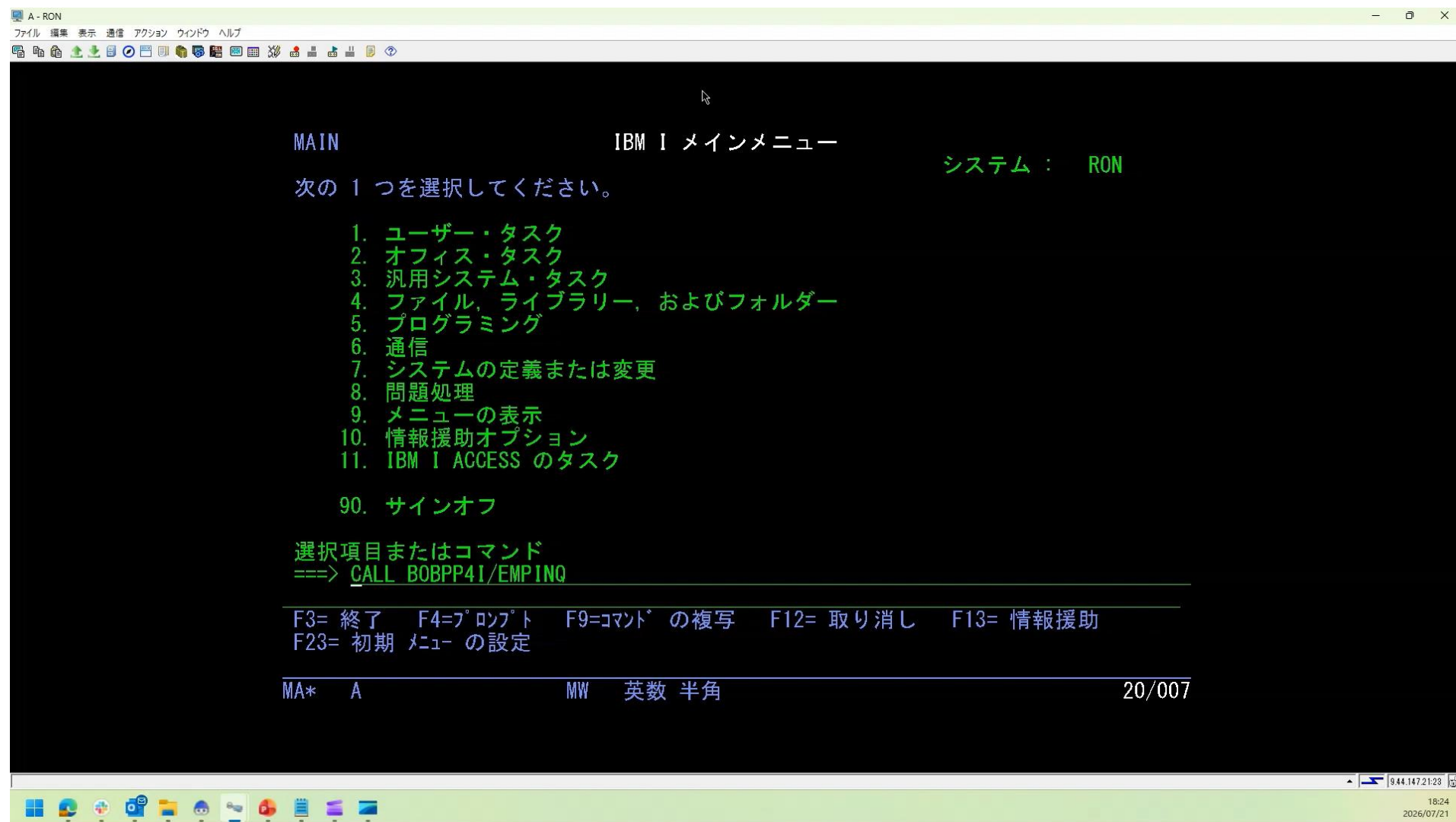
17:25
2026/07/21

ステップ3 プログラムを動かす

Bobが生成したプログラムを実行し、期待どおりに動作することを確認します。
プログラムを5250画面から動かしてみます。

```
CALL BOBPP4I/EMPINQ
```

ステップ3 プログラムを動かす



4. 振り返りとまとめ

本日のまとめ

- ◆ Premium Package for i では、自然言語による指示を通じてIBM iアプリケーション開発を進めることができます。
- ◆ 本デモでは、「設計案の作成」→「ソースコードの作成」→「実行確認」という流れで操作を行いました。
- ◆ 作成後も、提案内容の見直しや機能追加、レイアウト変更などを対話形式で継続できます。
- ◆ 利用者はDDSやRPGソースを直接修正する代わりに、「何をしたいか」を指示しながら開発を進めることができます。
- ◆ Premium Package for i を利用することで、設計・実装・修正を対話形式で進めることができます。

